

やまだ加奈子の

活動報告



外語大跡地利用

■飛鳥晴山苑オープン

高齢者と障害者の大型複合がオープン。事前の施設見学会では地元の方々や区内外、関係者など4日間で2,000名と大勢の方々が見学。地域開放されるカフェ、会議室や災害時、防災公園への避難路となるパーサージュが設けられるなど、私達の地域にとっても重要な施設となります。



飛鳥晴山苑 竣工記念式典

■外語大継承施設

「外大があった事を継承し、防災の拠点となることを目的とした施設」の整備が平成21年に予定されています。それまでの一年間、暫定利用として地域に開放され、子どもの遊び場や自治会での利用、又まちづくり協議会を中心に、花壇作りなどが行われています。



暫定利用で種まきをしている様子

※施設内容についてのご意見、ご要望がありましたら、お聞かせ下さい。

国際交流事業

■第5回アジアの子供の夢舞台

6月21日(土曜)・22日(日曜)に、北とびあ・さくらホールで、公演が開催されました。これは、アジア諸国の子どもたちと日本の子どもたちの交流を通して、アジア諸国と日本の友好と平和を願うことを目的として、2001年から行われている草の根国際交流事業です。メインのステージ公演では、アジア諸国(タイ王国・中華人民共和国・マレーシア・ブータン王国)から招聘された子どもたちと日本の子どもたちが、民俗舞踊や演奏を披露、また区民センターで地域の子供たちによる歓迎会、区内4小学校(滝3、荒川、谷端、岩淵)への一日訪問による国際交流、特別養護老人ホーム訪問、ボーイスカウトとの野外交流等、さまざまな交流が北区の各地域で行われました。



私も今回、実行委員会の一人として、企画会議から参加し、色々な事を学ばせていただきました。自治会や民間団体、産業界から賛同と支援が少しずつ集まり、このような多きな舞台が成り立ち開催できること、何より言葉や文化の壁を越えて、分かり合っていく子ども達の姿、キラキラした目や笑顔はとても印象的であり、大きな感動となりました。

たくさん子ども達にありがとう!!



地域医療を守る

■印刷局東京病院

昨年12月閣議決定された「独立行政法人整理合理化計画」による病院存続問題で、他の医療機関等への移譲に向けて取り組む中、5月14日自民党は区長と共に額賀財務大臣へ要請書を提出! 「存続に向け、強い意志」が示されました。

■北社会保険病院

社会保険庁解体による病院存続問題、3月3日舩添厚生労働大臣へ要請書を提出し、その後自治会連合会が中心となり区内で9万人に迫る署名を集約! 署名と共に6月20日改めて舩添大臣へ存続要請に行きつきました。



9万人に迫る署名と共に松本連合会長

引き続き、存続に向けてがんばります。

視察

■品川区教育委員会・大井第一小学校

～小中一貫教育と独自の科目「市民科」について～

品川区では平成12年度より「教師の意識改革」と「学校教育の質的転換」をねらいとした、教育改革「プラン21」が始まり、その流れのひとつとして、平成18年度からは「小中一貫教育」が実施されています。施設は一体型一貫校2校と分離型連携校とあり、教育・教科の特徴としては①9年間を<4-3-2>年のまとまりで編成し一貫性を持たせる②日常生活と関連させ、家庭や地域、企業と連携しながら教える、品川独自の学習科目「市民科」や「ステップアップ学習」を設けています。特に「市民科」は簡単に表現すれば、「社会の中の個」として生きていくための能力を高める教科と言える。大きく5つの項目 ①自己管理 ②人間関係 ③自治的活動 ④文化創造 ⑤将来設計に分け、地域社会と関わりながら学び、実践していく。挨拶から始まり、自己アピール法、セルフコントロール法や社会の仕組み・関わり方、ボランティア活動、職業体験などの将来設計、日本の伝統文化体験等々、多岐にわたります。教育委員会での説明と市民科、文化創造の授業「茶道」を視察してきました。茶道を楽しそうに、そして真剣に学んでいる姿をみて、これからの取り組みに大変、参考になる視察となりました。



大井第一小学校 4年生 市民科、茶道の授業を視察

—その他の視察—

☆京都市一環境について

☆箱根一区立はこね荘事業運営について